

芳香性アリアム「札幌 1 号」における抽だい促進技術

芳香性アリアム「札幌 1 号」は、①球根を 2℃・15 週間冷蔵処理、②球根の冷蔵処理前に 15℃・55 日間で保管、③定植後 50 日間の電照処理、のいずれかの処理を行うことで抽だいが促進する。

農業研究センター農産研究所花き研究室 (担当者: 熊谷 寛)

研究のねらい

アリアム新品種「札幌 1 号」は、北海道農研で育成されたアリアム属の園芸用品種で、バニラ様の香りを有することから、芳香性品種として新たな需要が期待される。しかし、本県における栽培特性は知られていない。

そこで、芳香性アリアム「札幌 1 号」における①球根冷蔵処理温度および期間、②球根冷蔵処理前の保管温度、③電照処理期間が、抽だい・開花に及ぼす影響について解明する。

研究の成果

1. 球根冷蔵温度が 0℃区および 2℃区では、5℃区より平均開花日が早まる (表 1)。
2. 冷蔵処理の期間を 15 週間行うことで、平均抽だい日および平均開花日が、6、10 および 12 週区に比べ早くなり、特に定植～抽だい日までの日数が早まる。また、無冷蔵区では、調査期間内での抽だい・開花はみられない (表 2、写真 1)。
3. 冷蔵処理前の球根を 15℃で 55 日間保管することで、平均抽だい日および平均開花日が早くなり、特に、定植～抽だい日までの日数が縮まる (表 3、写真 2)。
4. 定植から 50 日間電照処理を行うことで、無電照区より平均抽だい日および平均開花日が早くなり、特に、定植～抽だい日までの日数が縮まる (表 4)。

普及上の留意点

1. 定植に用いた球根は、重量が 0.6g 以上のものを使用した。
2. 抽だい促進処理を行うと、同日定植日の無処理区と比較した場合、小花数が少なくなる傾向がみられた。

【具体的データ】

No. 589 (平成 25 年 5 月) 分類コード 02-05 熊本県農林水産部

表1 冷蔵温度が平均開花日に及ぼす影響

処理区	開花日 (月/日)
0℃	2/10±2 ^z
2℃	2/11±3
5℃	2/19±3

^z平均日±標準偏差

注1) 球根の冷蔵期間は各処理区8週間

注2) 定植日:H21年10月26日

表2 冷蔵処理の期間が平均抽だい日、平均開花日および到花日数に及ぼす影響

処理区	平均抽だい日 (月/日)	平均開花日 (月/日)	到花日数		
			定植～抽だい日 (日)	抽だい日～開花日 (日)	合計日数 (日)
無冷蔵	-	-	-	-	-
6週	12/23±12 ^z	2/23±3	65	63	128
10週	11/29±2	1/29±3	41	62	103
12週	11/29±3	1/28±6	41	61	102
15週	11/21±3	1/17±2	33	58	91

^z平均日±標準偏差

注1) 球根の冷蔵処理は各処理区2℃

注2) 定植日:H23年10月20日

表3 冷蔵処理前の保管温度が平均抽だい日、平均開花日および到花日数に及ぼす影響

処理区	平均抽だい日 (月/日)	平均開花日 (月/日)	到花日数		
			定植～抽だい日 (日)	抽だい日～開花日 (日)	合計日数 (日)
15℃	11/13±2 ^y	1/14±2	23	62	85
20℃	11/18±4	1/21±7	28	64	92
25℃	12/6±4	2/7±5	46	63	109
ハウス ^z	12/1±5	2/2±5	41	63	104

^zハウス前室にて保管(平均気温が29.4℃、平均最高気温が34.0℃、平均最低気温が25.9℃で推移した)

^y平均日±標準偏差

注1) 球根冷蔵処理前の保管は、各処理区55日間行った

注2) 球根の冷蔵処理は各処理区2℃・10週間行い、H23年10月20日に定植した



写真1 冷蔵の期間が抽だいに及ぼす影響

(H24年1月17日撮影)

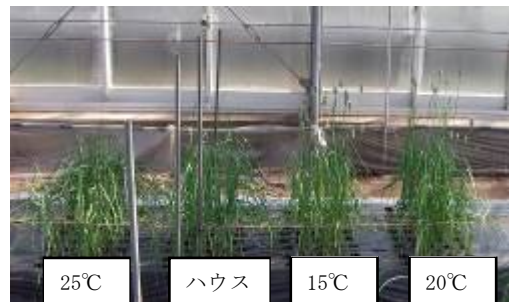


写真2 冷蔵処理前の保管温度が抽だいに及ぼす影響

(H23年12月30日撮影)

表4 電照処理が平均抽だい日、平均開花日および到花日数に及ぼす影響

処理区	平均抽だい日 (月/日)	平均開花日 (月/日)	到花日数		
			定植～抽だい日 (日)	抽だい日～開花日 (日)	合計日数 (日)
電照区	11/30±3 ^z	1/28±4	30	59	89
無処理区	12/18±9	2/21±5	48	65	113

^z平均日±標準偏差

注1) 球根の冷蔵処理は各処理区2℃・10週間

注2) 電照は定植から50日間行った

注3) 定植日:H23年11月1日